

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児保育園ヘレン経堂				公表日	2025年3月6日
	チェック項目	はい	いい	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1	<p>重心の園児が増えるようなら狭いと思う。</p> <p>バキーを置き場所や子ども用トイレは混雑する時もあり、課題を感じている。</p> <p>収納スペースが少なく、物が多いため、十分であるとは言えない。</p> <p>一つのマットに2人にしてる。</p>	<p>制度上は問題ありませんが、収納スペースが少ないことや物が多いことは課題がありますので、整理整頓に努めていきたいと思えます。また、活動や時間帯によっては、1つのマットを2人で使用しています。今後も衛生面などに注意をしていきます。</p>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	3	<p>医ケアの件数を考えると看護師が足りない。時間を工夫したり、保育士に依頼出来る業務は説明やデモンストレーションをして依頼したりしてる。</p> <p>欠席も多いが医療ケアや多数のデバイスを使用している子が増えており、安全面からスタッフ不足に感じる時もある。</p> <p>基本的には適切だとは思いますが、送迎時間によっては足りないと思う場面がある。</p> <p>活動時1人のスタッフで、2人みている。</p>	<p>制度上の配置は確保しています。</p> <p>安全な人員配置が出来るように業務改善も含め調整を行っています。</p>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0	<p>狭い中で物販の保管場所がないため、柵などを設置している。</p> <p>動く医ケア児に対しての空間確保が課題だと思う。</p> <p>物品が増えて重心外の子が触らないように配慮が必要。</p> <p>収納スペースが少なく、物が多いため、十分であるとは言えない。</p>	<p>制度上は問題ありませんが、収納スペースが少ないことや物が多いことの課題はありますので、整理整頓に努めていきたいと思えます。</p>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1	<p>活動する部屋が狭い。</p> <p>加湿器などを必要時設置している。</p>	<p>清潔で心地よく過ごせるように、より一層の整理整頓に心がけたいと思えます。</p>	

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	3	個別の部屋はないが、シーンに応じてパーティションなどで区切っている。  部屋数が足りないため、個別の部屋は準備できない。  全員出席したときには物理的(場所・人的)に環境を整えることが難しいが、部屋の中を区切ったり、人員配置を工夫したりしている。  適宜パーティションを利用。  場所はない。  集団の空間に居られない児がいる時の個別対応は部屋ではなく、廊下になっている。現時点ではそれに対応はできている。	個別の部屋は準備できません。パーティションの利用など工夫しながら行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	1		業務課題ごとに広くスタッフに役割を担ってもらうチャンスを増やし、業務改善をしてみたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	親子遠足や、アンケート回収にて希望調査。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	各職種のミーティングを実施しており、その中で意見のすり合わせはしているが、多職種間のすり合わせは不十分かもしれない。工夫としては各職種のミーティングで出てきた意見等は各職種のリーダーが集まり代弁し、答えを降ろしている。	各職種のMTG、リーダーMTGを毎週行っています。多職種での意見交換をより多くしていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	2		第三者による外部評価は行っていません。保護者および職員向けの評価表をもとに業務改善を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	摂食は外部講師を依頼している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1		現在公表に向けて準備しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	1	保護者のニーズの把握と分析が足りない	スタッフを含め、アセスメントやモニタリングを行っています。より良いものにしていきたいと思います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	スタッフ含めてモニタリングを実施している	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	常勤での共有はできてきているが、非常勤職員までになると不十分である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	3		標準化シートは使用していません。現在、ヘレン全園で検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	実施しているが、チームで立案ができない月があるとその時は個人任せになっている。  クラスの担任で打ち合わせをしたい。	現在は意識的にMTGを行うようにしています。よりよい活動ができるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	季節感を感じられるようにプログラムを立て、マンネリ化を防いでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1		朝MTGやホワイトボードで共有していますが、意識して行っていきたくと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	4	その日ごとには行っていないが、気になった点はMTGの議題にあげて話し合っている。  毎回打ち合わせの時間を確保するのは難気づいたこと等は記録や活動の合間に共有するようにしているが、毎回打ち合わせの時間を確保するのは難しいと感じている。  日々はできていない。	その日ごとではできていませんが、クラスMTGを行い、活動や関わりを振り返るようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1	検証に活かせる記録の取り方、まとめ方を検討。  連絡帳をICT化したことに伴って記録もそこに記入しているが、それにしたことで見づらさが生じている。	ICT化に伴い見づらさが生じている部分はあるため、支援の検証・改善のために見やすい書式を整えたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0			

関係機関 や保護者 との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0	関係者会議を行っている。	
	26	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	1	同施設のごども広場や一時保育室と連携している。	外部講師を招いたり、園内研修を行っています。今後も機会を増やしていきます。
	27	(自立支援)協議会ごども部会や地域のごども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	0	学校と連絡を取り合っている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13	3		地域の児童発達支援センターとの連携は少ないので連携機会を増やしていくようにします。
	29	保育所や認定ごども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する機会があるか。	15	1	少ない。 施設内の一時預かり保育室に行ったりしている。 同施設のごども広場や一時保育室と活動している。	同施設内のごども広場や一時保育室に来ている地域のおこさんたちと活動の機会をもっています。
	30	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	2	就学した先輩保護者に来てもらい、園の保護者と話をしてもらったりした。	プログラム設定は行っていません。家族支援が必要と思われるケースは検討会を開催し保護者支援を行っています。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
保護者 への説明	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	1	面談は実施しているがコミュニケーションが不足。	より良いコミュニケーションを検討していきます。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	2	少ない。 年に2回くらい保護者参加型の活動やイベントを実施しているが、もっと交流したいという意見をもらう。	今年度は保護者参加の活動を増やしました。ご意見をいただきながらより良い機会を検討します。
	37	ごどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	16	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		
	40	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		

寺	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	5	フードパントリーを行っている。	今年度はフードパントリーを行い、地域の方の来訪が増えました。今後も地域に開かれた催しを行っていきます。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0		
非常時等の対応	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	研修や園内で話し合いを行っている。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0		